

氏名	職名	学位
山崎 岩男	教授	芸術学修士

担当科目	総合演習 AB (声楽)、特別舞台演習ⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅧ 声楽実技、声楽史 卒業制作 (論文)
研究分野	声楽
所属学会	日本声楽発声学会

学会および社会における主な活動
<p>さいたまシティオペラ presents オペラ・ガラコンサート・「元気になるコンサート」(2021年9月5日(日)さいたま市文化センター小ホール)を企画・運営(さいたまシティオペラ(会長山崎岩男)主催) コロナ禍における文化活動の低迷状況を少しでも改善しようと、文化庁補助対象事業A・F・Fに申請、承認をいただき、9月5日の午前、午後の2回に渡りコンサートを開催した。 感染対策には最新の注意を払い、ホール収容数を半数に抑えた形で実施した。 アナウンスメントも控え全て自作の字幕で対応した。 内容はオペラの団体であることから、オペラと日本の歌を中心に重唱、会員全員の演奏による合唱を加えたプログラムで実施した。 出演者:佐野正一、山口由里子、新南田ゆり、山崎岩男ほか 両回とも演奏会員12名ずつの出演。さいたまシティオペラ合唱団、合唱指揮:谷本喜基、及びピアニスト:高木由雅ほかの構成。指揮は佐藤宏充、演出は島田彌六。</p> <p>音楽&amp;アートの祭典 —with コロナ時代。癒し、つなぐ、アートの力で— コロナ禍の文化振興のための企画とし、感染対策のため演奏の全てを録画、配信にて行う企画。尚美学園大学卒業生の大石将史、新井里美の2名が企画運営に関わっており、主旨に賛同し師弟共演となった。 ライブ配信コンサート(配信日11月28日(日)ふじみ野市文化スポーツ振興課主催)に出演した。出演コーナーは「山田耕筰〜日本語をメロディに乗せて〜」曼珠沙華、嘆、待ちぼうけ、赤とんぼ、この道などを演奏。 ピアノ:富永有里乃、フルート:大越絵梨花、ナビゲート:古今亭志ん雀、歌唱は他に大石将史、村田藍、司会:新井里美ほか(プログラムへの参加は40名位)</p>
主要研究業績
<p>テキスト作成 「声楽史」2 「総合演習」2 「発声の仕組み」2</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
特になし

氏名	職名	学位
伊藤 紫織	教授	博士（文学）

担当科目	日本美術史（舞台）・日本美術史概論・美術史A（日本）・美術史B（東洋）・芸術概論・プレゼミナール・ゼミナール・博物館実習・日本美術史（大学院）・美術理論特論
研究分野	日本美術史 視覚文化 出版文化
所属学会	美術史学会

学会および社会における主な活動
茨城県文化財保護審議会委員 東京国立博物館寄贈文化財価格評価委員
主要研究業績
「王欽古と真景」（単著）（佐野市立吉澤記念美術館編『王欽古一京から来て、佐野に住んだ南画家』展図録、令和4年3月19日発行）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

氏名	職名	学位
伊藤 大	教授	文学士

担当科目	・演劇表現基礎演習Ⅲ・Ⅳ ・舞台表現演習ⅠAⅡA ・演劇表現演習Ⅰ総合演習Ⅰ ・演劇表現演習Ⅱ総合演習Ⅱ ・演出論Ⅰ・Ⅱ ・卒業研究
研究分野	演出 フランス演劇
所属学会	日本演出者協会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
劇団青年座研究所所長	
<b>主要研究業績</b>	
<p>・令和3年度文化庁芸術文化振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 助成 劇団青年座公演『アルピオン 白亜の地イングランド』(作=マイク・バートレット/令和3年5月俳優座劇場) 演出</p> <p>[新聞・雑誌紹介 ○同年5月13日(木)朝日新聞夕刊『E U 離脱の渦中、人間ドラマ丁寧に 青年座、英国の空気映す「アルピオン」』編集委員・藤谷浩二 ○同年5月14日(金)週刊エコノミスト『舞台 青年座「アルピオン 白亜の地イングランド」 E U 離脱の心理状況を英国式庭園再生に重ね』濱田元子 ○同年5月23日赤旗日曜版]</p> <p>[劇評○同年5月27日(木)毎日新聞夕刊『協調欠く社会の行先「アルピオン 白亜の地イングランド」』濱田元子 ○テアトロ同年8月号「今月選んだベストスリー」江原吉博 ○悲劇喜劇同年9月号「演劇時評」酒井誠・小田島創志 ○同年12月7日(火)『現代演劇 骨太の人間ドラマも』年末回顧にて取り上げられる]</p> <p>[著述・『下り坂の向こうへ』パンフレット寄稿 同年5月]</p> <p>[受賞 ○同年7月5日(火)第29回読売演劇大賞上半期ノミネートに美術長田佳代子 ○令和4年1月20日(木)第29回読売演劇大賞杉村春子賞をザーラ役那須凜]</p>	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏名	職名	学位
岡村 宏懇	教授	学士（経済学）

担当科目	演劇表現基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演劇表現演習Ⅰ・総合演習Ⅰ 卒業研究
研究分野	演劇 表現教育 コミュニケーション
所属学会	日本演劇学会 和文化教育学会（理事） 京都能楽会（大蔵流狂言師）

学会および社会における主な活動
<p>【学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭発表 「狂言の言祝の笑い」日本笑学会 第28回大会（令和3年8月）</li> <li>・講座開設 和文化教育学会にて狂言講座を開設（令和4年3月）</li> </ul> <p>【社会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大蔵流狂言師 上野松風会定期能楽會や片山定期能、猿樂會などに出演。</li> <li>・自治体との教育提携 京都府次世代文化継承・発展事業「学校・アート・出会いプロジェクト」に参画し、府下の小中学校に赴き、古典芸能（狂言）の体験W.S.および実演を行った。</li> <li>・文化観光事業 （株）京都旅企画と提携し、京都来訪の修学旅行生や外国人を対象に、古典芸能（狂言）の体験型ワークショップ講師をつとめた。</li> </ul>
主要研究業績
<p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「笑学にみるファシリテーション力育成の教材性について」（査読付き） 淑徳大学高等教育開発センター年報 Vol. 8, 2021, pp. 31-43、令和3年11月</li> <li>・「竹人形劇と竹人形文楽の境界性についての一考察」（査読付き） 淑徳大学人文学部研究論集 Vol. 7, 2022, pp. 17-30、令和4年3月</li> </ul>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<p>日本学術振興会 令和4年度(2022年度) 科学研究費助成事業（科研費） 基盤研究(C)：課題番号 22K00215 「竹人形文楽の総合的研究—水上勉の旧蔵資料から—」 研究代表者(単独) 令和4年度～令和6年度</p>

氏名	職名	学位
岡本 雄司	教授	修士（美術）

担当科目	静物デッサン、石膏デッサン、デッサン基礎実習、イラストレーション実習、プレゼミ、ゼミナール、卒業研究、グラフィックデザイン特論、論文・制作特別演習
研究分野	美術（平面）
所属学会	なし

学会および社会における主な活動	
令和3年4月～3年3月	ふじみ野市文化振興審議会委員
令和3年4月～3年3月	ふじみ野市外部評価委員会委員
主要研究業績	
令和3年7月	月刊誌8月号『母の友』「絵本作家の本棚14」取材協力（福音館書店）
令和3年8月	えほんのいりぐち9月号『くるまにのって』特製版（福音館書店）
令和3年11月	こどものとも年少版12月号『でんしゃすきなのだーれ』（福音館書店）
令和3年11月	12月号折込み付録「表情豊かな電車たち、選ぶ楽しさ」（福音館書店）
令和3年11月	個展「岡本雄司絵本原画展」（ギャラリー6 坪 新潟県十日町市）
令和3年11月	トークイベント「絵本作家と話そう」（十日町情報館 新潟県十日町市）
令和4年1月	十日町タイムス新年特大号、ギャラリー6 坪との交流を振り返る「十日町で芸術発信続けて20年」において取材協力（十日町タイムス）
令和4年2月	北越急行開業25周年記念ぬりえ原画制作（北越急行株式会社）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
小林 仁	教授	修士（学術）

担当科目	ミュージカル史 舞台表現演習ⅠC・ⅡC ミュージカル歌唱研究、ミュージカル作品研究 卒業研究（論文）
研究分野	舞台芸術（主にミュージカル歌唱に関する分野）
所属学会	日本声楽発声学会 日本ミュージカル学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
なし	
<b>主要研究業績</b>	
なし	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏名	職名	学位
青井 智佳子	准教授	理学士

担当科目	「ミュージカル表現演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「身体表現Ⅳ（ジャズダンス）」、「身体表現Ⅲ（ストリートダンス）」、「卒業研究」
研究分野	ジャズダンス、ストリートダンス、ミュージカル、衣装
所属学会	なし

学会および社会における主な活動
2021年4月 ミュージカル座「サイト」振付 2021年12月 東京大学ダンシングクラブ WISH 12月公演 運営指導  <div style="text-align: right;">以上</div>
主要研究業績
特になし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
大隅 智佳子	准教授	博士（音楽）

担当科目	声乐実技・特別舞台演習・オペラ演習・舞台表現特殊演習Ⅰ・Ⅱ 身体表現特殊演習Ⅰ・Ⅱ・声乐基礎演習A・B 歌唱表現基礎演習ⅠC・ⅢC・舞台応用芸術論
研究分野	声乐・オペラ
所属学会	無し

<b>学会および社会における主な活動</b>
杉並リリカ主催コンサート、鎌倉の第九配信映像収録会、モーツァルトの音楽を楽しむ会主催コンサートなど多数出演。栃木県足利市での足利市民会館専属プロフェッショナル芸術団体「足利オペラ・リリカ」において音楽監督を務め、自ら企画・運営を行いオペラ研究科での後進の指導の他、2021年度定期公演《椿姫》のオペラ制作並びにヴィオレッタ役で出演。自らのオペラ研究団体としてOHSUMI&PRODUCEを主宰。自主企画によるオペラ及び演奏会を企画・運営し、年に数回の演奏活動を行う。夏と冬にアルテリーベ東京にてミニ・コンサートを開催。アマチュア合唱団OAP合唱団を結成・運営。新型コロナウイルスの影響によりヴェルディ作曲《レクイエム》が延期されている中で、困難な状況においても実現可能な演奏会をモットーにコンサートを企画。ソリスト、オケのソロ演奏に合唱団も演奏を披露する場を提供した。
<b>主要研究業績</b>
音楽・演奏博士としての年間を通じての演奏活動。（オペラ・コンサート含む）特に重要なものを挙げる。2021年度は新国立劇場主催オペラ公演に昨年度より引き続き出演を果たす。4月にチャイコフスキー作曲、歌劇《イオランタ》タイトルロールにて出演し、絶賛された。また、音楽監督を務め10年目となる足利オペラ・リリカにおいて定期公演のオペラをプロデュース、ヴェルディ作曲の歌劇《椿姫》を令和4年1月23日（日）に新型コロナウイルスの影響を受ける中、感染対策を万全にし無事に公演を実施した。また令和3年9月24日（土）練馬文化センター小ホールにて主宰運営する合唱団の演奏会を実施。感染症流行という前代未聞の状況の中で、安全安心に演奏活動をしていくための手段を実際の企画運営の中で模索し、感染者を出さない理想的な演奏企画実現の研究をメインに演奏研究を実施した。
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>
足利市民会館を通じて「足利オペラ・リリカ」運営の文化庁への助成金申請。



氏名	職名	学位
清水 典人	准教授	教育学士 体育学修士

担当科目	身体表現C、身体表現E、ミュージカル表現基礎演習Ⅲ・Ⅳ、舞踊表現演習Ⅰ、総合演習Ⅰ、卒業研究(ダンス)、卒業研究(論文) 舞台芸術教育論、舞踊表現基礎演習Ⅳ、舞踊特殊研究
研究分野	舞踊学・スポーツプロモーション
所属学会	公益財団法人日本女子体育連盟、一般社団法人現代舞踊協会、日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部門舞踊研究会

学会および社会における主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人現代舞踊協会 ダンスプラン 2021【賞選考委員】</li> <li>・ダンス・インキュベーション・フィールド岡山 特別公演「Arts Promenade」岡山芸術創造劇場プレ事業 主催：岡山市／(公財)岡山文化芸術創造 【演出・振り付け・出演】</li> <li>・公益社団法人 日本女子体育連盟・神戸市・神戸市教育委員会主催 第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸【大学創作コンクール部門予選審査員】</li> <li>・茨城県洋舞踊協会主催 The 16th DANCE SPIRIT IBARAKI【ゲストアドバイザー】</li> <li>・秋田県芸術舞踊協会主催 第40回あきた全国舞踊祭【振り付け・指導】</li> <li>・NBA バレエコンクール 2022【振り付け指導】</li> <li>・第31回横浜国立大学モダンダンス部自主公演「En ～繋がる思い～」作品「永遠に終わりのない……はじまり」【振り付け指導】</li> <li>・日本女子体育連盟機関誌『女子体育』10. 11月号(ダンスフェスティバル特集号)「大学創作コンクール部門の作品講評」【執筆】</li> </ul>	
主要研究業績	
特になし	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
特になし	

氏名	職名	学位
関 聡太郎	准教授	米国修士（芸術） 修士（知的財産権法）

担当科目	演劇表現基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演劇表現演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ（演劇）、総合演習Ⅱ（論文）、卒業研究（卒業公演 演劇）、卒業研究（論文）、ミュージカル表現演習Ⅰ、総合演習Ⅰ（ミュージカル）、舞台知的財産権概論、プロデュース研究、プロデュース演習、古典芸能基礎演習Ⅰ・Ⅱ（殺陣）
研究分野	演劇・ミュージカルなどライブエンターテインメント全般 時代劇、殺陣 知的財産権（主に著作権、商標法、契約関連）
所属学会	日本弁理士会 エンターテインメント・ロイヤーズ・ネットワーク

学会および社会における主な活動
<p>日本弁理士会所属。エンターテインメントを専門分野とする弁理士として知財知識の普及に努める。また、前川知的財産事務所のパートナー弁理士として活動する。この実務経験を生かして「舞台知的財産権概論」の授業において舞台に関連する法律や契約についての指導を行っている。</p> <p>コニカミノルタプラネタリウム株式会社において、新規コンテンツ事業の演出アドバイザーを務める。当該株式会社が運営するプラネタリア TOKYO の柿落とし作品（LiveAct「星に願う夢」）の監督・脚本を務めた。</p> <p>NPO 法人 演劇倶楽部「座」の監事を務める。また、殺陣指導や公演における演出、殺陣を担当、出演もする。</p> <p>古武道「正伝十二騎神道流」4 段位。伝統技術継承のため後進の指導に努める。また、その技術を生かして演劇基礎演習や古典芸能基礎演習（殺陣）の授業においてアクションと所作指導を行なっている。</p>
主要研究業績
<p>平成 28 年 4 月～現在 NPO 法人演劇倶楽部「座」 監事</p> <p>平成 28 年 7 月～現在 NPO 法人演劇倶楽部「座」 殺陣ワークショップ講師</p> <p>平成 27 年 6 月～現在 劇団四季ワークショップ第 1～4 弾 プロデュース （昨年及び本年は新型コロナの影響により休止）</p> <p>平成 29 年 4 月～令和 2 年 5 月 コニカミノルタ・プラネタリウム株式会社 演出アドバイザー</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

氏名	職名	学位
三輪 亜希子	専任講師	博士（体育スポーツ学）

担当科目	舞踊表現基礎演習Ⅰ～Ⅳ 舞踊史Ⅰ・Ⅱ 舞踊表現演習Ⅰ・Ⅱ 総合演習（ダンス）Ⅰ・Ⅱ 総合演習（論文）Ⅱ 卒業研究（ダンス） 卒業研究（論文） 舞台表現演習ⅠB スポーツ方法（ダンス）、舞踊創作技術特殊研究
研究分野	創造性 舞台芸術 舞踊教育 芸術教育
所属学会	舞踊学会 体育学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インドネシア「MUgiDance」Festival2021、令和3年7月11日動画配信型、ファイナリスト。</li> <li>・プロジェクト大山15周年記念公演『グッバイ！キャラバン』東京・宮崎ツアー、令和3年9月31日/10月1日、シアターラム（東京）/みまた演劇フェスティバル内「ミルどら」11月8日</li> <li>・第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル、入選作品指導、令和3年8月11日、神戸文化ホール。</li> <li>・あきた全国舞踊祭モダンコンクール第40回、令和3年12月12日、入選作品指導</li> <li>・「女子体育」2021夏号インタビューページ「ダンスアーティストとしての先見の明」インタビュー及び執筆担当、令和3年8月1日</li> <li>・ワコムとコネクテッド・インク・ビレッジ「コール&amp;レスポンス vol.3」国内外配信型オンラインアートイベント出演、令和4年2月12日</li> <li>・筑波大学体育センター主催FDセミナー講師担当「」、令和4年2月3日</li> </ul>
主要研究業績
<p>〈学位取得〉</p> <p>筑波大学大学院 大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年制博士課程）博士（体育スポーツ学）取得、令和4年3月25日</p> <p>〈論文〉</p> <p>三輪亜希子・高木英樹（2021b）大学舞踊教育専門課程の創作科目における学習者の認知，尚美学園大学スポーツマネジメント研究紀要，2：43-52.令和3年5月31日</p> <p>〈学会発表〉</p> <p>三輪亜希子・高木英樹（2021c）プロのダンスアーティストの創作技術と舞踊思想に関する質的研究．第71回体育学会誌．令和3年8月9日</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<p>令和3年度科学研究費、基盤研究C、『大学舞踊教育における「舞踊創作デザインシート」活用場面での指導法と評価基準の検討』（不採択），令和4年3月31日</p>